

自治体や産業界等と連携した地域課題解決の研究の実施

大分県地域の共食拡大事業

別府大学短期大学部 食物栄養科

新型コロナウイルスに負けない体をつくろう～べっぷ免疫サポート食づくり～

<概要>

2020年は新型コロナウイルス感染症が拡大し、地域や学校等における共食の場が失われる現状の中、栄養学を専門とする教育機関として、新型コロナウイルスに負けない体づくりを目標に、2020年11月28日に別府市民を対象に「べっぷ免疫サポート食づくり」の講習会を開催しました。

大分県地域の共食拡大事業の一環で実施し、県産食材を使った免疫機能を正常に維持するレシピを、栄養士を目指す2年生53人が4～5人のグループで考案し、11月10日に「免疫サポート食コンテスト」を開催しました。主食・主菜・副菜・デザート4部門から最優秀賞に選ばれた料理（かぼすブリみそ漬け丼、アジの梅しそロール、カリカリ揚げごぼうと豚肉のサラダ、ゆずムース）を、講習会で受講者が調理・共食を行いました。当日は、学生が心を込めて考案したレシピ全48品を掲載したレシピ集を配布しました。

受講者からは「テーマも内容も素晴らしかった、参加して本当に良かった。」というお言葉を頂き大盛況で終わりました。ご家庭等でご活用頂き、少しでも地域の皆様の感染症に負けない体づくりにお役立て頂ければ幸いです。

<取り組みの様子>



コンテストで最優秀賞を受賞した学生達



学生が考案した「免疫サポート食」



講演会での調理実習の様子



ランチョンセミナーの様子